

平成17年度

決算報告書

自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

国立大学法人 名古屋工業大学

第2期事業年度

平成17年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,281	5,281	-	
施設整備費補助金	762	789	27	(注1)
施設整備資金貸付金償還時補助金	740	2,222	1,482	(注2)
補助金等収入	-	57	57	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	-	
自己収入	3,569	3,983	414	
授業料、入学料及び検定料収入	3,507	3,898	391	(注3)
雑収入	62	85	23	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	883	2,095	1,212	(注5)
計	11,263	14,455	3,192	
支出				
業務費	7,140	6,504	636	(注6)
教育研究経費	7,140	6,504	636	
一般管理費	1,710	1,939	229	
施設整備費	790	817	27	(注7)
補助金等	-	57	57	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	883	1,599	716	(注8)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	740	2,222	1,482	(注9)
計	11,263	13,138	1,875	
収入 - 支出	-	1,317	1,317	

注)百万円未満四捨五入

予算と決算の差異について

- (注1)施設整備費補助金については、平成17年度補正予算により、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。
- (注2)施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が1,482百万円多額となっています。
- (注3)授業料、入学料及び検定料収入については、平成18年度入学者に係る授業料の前納額が多かったため、予算額に比して決算金額が391百万円多額となっています。
- (注4)雑収入については、主として土地貸付及び建物貸付収入等により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっています。
- (注5)予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算額が712百万円・寄附金が500百万円多額となっています。
特許権及び著作権に係る予算額1百万円は「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」、決算額1百万円は「雑収入」に、その差額は1百万円となっています。
- (注6)業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が636百万円少額となっています。
- (注7)(注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっています。
- (注8)(注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が716百万円多額となっています。
- (注9)(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,482百万円多額となっています。